

小生四十年程前より河川敷ゴルフ場の大ファンであり淀川ゴルフクラブに月に数度は通っているプレーヤーです。

現役の頃は会社よりすぐ直行可能なゴルフ場として社内コンペも含み月に数度は来てプレーを楽しんでおりました。現在もクラブのシルバーコンペ、又、会社のOB会等を含め月に数回はプレーに来ております。

バブルの頃よりゴルフに対する批判が強まりゴルファーが片身を狭くプレーせざるを得ない時代がありました。しかし大衆的に又低料金で昔から営業している河川敷のゴルフ場はバブル時代のゴルフ場批判とは何の関わりもないと思います。何故ならば終戦後すぐより営業し最初セミパブリック、後にパブリックゴルフ場として多くの人々に楽しみを与え続けているからです。

河川敷ゴルフ場も特に淀川ゴルフクラブは、昭和二十四年より細々と言え失礼ですが、控えめに営業しており、正に民営化された市民ゴルフ場であると思います。ゴルフ場として、環境のことを考えて無農薬でコース管理をしていることも聞きました。

我々高齢のゴルファー、その他女性ゴルファー、ジュニアゴルファーにとっては又とない貴重な都会の中のオアシスであると思います。

又、河川敷の環境面でもゴルフ場がある方が良くと思います。淀川ゴルフクラブでも、社員の皆さんがコースまわりのゴミ拾いや、草刈りなどしています。

又、防犯上も良い効果をあげていると、プレーヤーの間でも言われてます。

小生野球の審判員もしておりますが、ゴルフも立派なスポーツであり、健康の為には(特に我々高齢者にとって)最もよいスポーツであると思います。

最後に河川敷のゴルフ場利用者はかなり多数であると思いますし、どのスポーツが善でどのスポーツが悪であるという議論は無意味であると思います。

以上の理由により河川敷のゴルフ場の存続を強く求める次第です。